

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	木更津市立木更津第二小学校
テーマ	本校の取組（キャリア教育）について
実施形態	授業参観（参観者：学校評議員）を併せて実施 学校評議員会を兼ねて実施
日時 会場	令和5年1月25日（水）13:00～14:45 授業参観（体育館）、ミニ集会（多目的室1）
参加者	教職員 5名            その他（学校評議員） 4名 保護者 3名                                  計 12名
広報	出席を直接依頼
内容・ 進め方	<p>&lt;工夫が見られた点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の座席がコの字型に設置してあり、互いの表情が見られるようになっていたこと。</li> <li>・学校評議員、PTA 役員、教職員の参加者全員が発言できるように進行していたこと。</li> <li>・教職員については、本集会のテーマであるキャリア教育担当職員が参加をしていたこと。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の事業所において、観察実習が行えないため、3人の講師（PTA 関係者）を招き、6学年全体で「ゆめ仕事ぴったり体験」に関する一斉授業を行ったこと。</li> </ul>
参加者の 意見	<p>&lt;テーマに関することについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事に関することについて、子供たちと触れ合いながら話すことができてよかった。1つのテーマで話をする機会となり、保護者として大変貴重な機会となった。</li> <li>・講師と学校とで事前の打合せを十分に行ったことにより、「日々の努力」「日本文化」「外国語」のこと、「好きなことに打ち込んでほしい」など、素晴らしいメッセージがたくさん詰まっていた。子供たちにとって身近な方々を講師として選んだことが良かったと思う。</li> <li>・一斉授業の中に、職業当てクイズがあり、子供たちがグループで答えを話し合い、興味をもって3名の講師の話聞いていた。</li> <li>・子供たちは、保護者（地域住民）から仕事に関する話を聞くことにより、地域の方や地域にある職業に目を向けることができる。</li> <li>・地域には活用できる人材や場所がたくさんある。公民館等とも連携をしていけると良い。</li> <li>・本テーマに関する授業の実施が、この時期で良かったと思う。卒業につながる良い機会だった。</li> </ul>
その他	<p>&lt;参観者の感想等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3名の講師（保護者）の方々の話を聞く、6年生の姿が大変素晴らしかった。</li> </ul>

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・子供達が大人から学ぶ機会もあり、地域の人達が学校の取り組みを知る機会もあり、学校と地域が連携して子どもたちの成長を見守る関係が築かれている。</li><li>・「ゆめ仕事ぴったり体験」は、子供たちの未来につながる大切な学習の一つである。新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちが実際に働く現場の様子を見たり、体験をしたりすることはできなかったということだが、今回の取組は子供たちにとって大変貴重な機会になったと思う。</li><li>・職業について、保護者（地域住民）に本気で語っていただくという機会は、子供たちにとって大変貴重であり、学校評議員の方がおっしゃっていたように、保護者や地域住民が働いている姿に目を向ける良いきっかけになると感じた。</li><li>・今後もぜひ、「地域とともにある学校」を目指して、地域人材を活用しながら、充実した教育活動を展開して欲しい。</li></ul> |
|--|

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	山武市立松尾小学校
テーマ	学校・家庭・地域でしっかりとしたあいさつができる子供たちを育てるためにできること
実施形態	授業参観（参観者：学校運営協議会の委員）を併せて実施 学校運営協議会を兼ねて実施
日時 会場	令和4年11月21日（月） 13:35～16:10 メディアルーム
参加者	教職員 5名 その他 5名 保護者 3名 地域住民 5名 計 18名
広報	出席を直接依頼
内容・ 進め方	<p>&lt;工夫が見られた点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>参加者の座席が円形に設置しており、互いの表情が見られるようになっていたこと。</li><li>「協議」の前に「報告」の時間が設けられており、教職員・学校運営協議会の委員・市教育委員会、それぞれの立場から報告する時間があったこと。</li><li>学校運営協議会の委員に、こども園、小学校、中学校、高等学校の管理職が参画しており、連携できる体制になっていたこと。</li><li>グループワーク（3～4名）を取り入れて、協議、共有の場を設けていたこと。</li></ul>
参加者の 意見	<p>&lt;テーマに関することについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>登下校中に挨拶をしない子が目立つが、子供に「挨拶をしよう」と呼びかけるだけでなく、一番は大人（保護者・地域住民）が挨拶をしていけるようにする必要がある。</li><li>挨拶については、繰り返し、継続的に行っていくことが大切である。</li><li>上級生から下級生に、挨拶の大切さを伝えていく機会を設けていけると良い。</li><li>保護者や子供は、知らない人との挨拶については、安全面に不安がある。そのため、学校では、挨拶の大切さと併せて、「知らない人には絶対についていかない」などの安全面に関する指導を徹底してほしい。</li><li>特に、中学生の挨拶はとても気持ちが良い。</li><li>挨拶を通して、さらに良い地域にしていきたい。</li><li>こども園から高校まで、すべての子や大人が、明るく挨拶を交わすことができるような地域にしていきたい。</li></ul>

<p>その他</p>	<p>&lt;参観者の感想等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の「令和4年度前期の学校評価」の結果をもとに、学校・家庭・地域の代表者がそれぞれの立場で意見を出し合い、解決策を考えていることが大変素晴らしい。また、行政職員も参加することで、行政も含め、地域全体で子供の成長や安全など、様々なことについて、ビジョンや課題を共有できている。</li> <li>今後ぜひ、学校・家庭・地域・行政が一体となって、子供や地域の未来について考え、意見を出し合い、課題解決に向けて進んでほしい。</li> <li>・学校にとって、地域住民や保護者の方々からの意見は大変貴重である。今後も、「地域とともにある学校」を目指し、学校が核となり、さらなるコミュニティを構築してほしい。</li> <li>・学校運営協議会の委員の方々が、委員の立場や学校現場の状況等をとても理解してくださっているので、教職員は大変ありがたいと思う。</li> <li>・学校運営協議会の委員の構成が良く、幼・保、小、中、高等学校が連携できていることはもちろん、世代や男女の比率等のバランスも良く、様々な立場で建設的な意見を出し合っていたことが大変素晴らしいと思った。</li> <li>・登下校の安全についての話題があったが、県として対応していけるものがあれば、速やかに対応していきたい。</li> </ul>
------------	--

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	佐倉市立根郷中学校
テーマ	子どもの健やかな成長のための家庭教育の在り方
実施形態	講演会を実施
日時 会場	令和4年10月25日（火） 14：25～15：25 体育館
参加者	教職員 21名      その他 2名 保護者 8名 地域住民 1名 <span style="float: right;">計 32名</span>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への案内（配付物）</li> <li>・出席を直接依頼</li> </ul>
内容・ 進め方	<p>&lt;工夫が見られた点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを表題とする講演の後、学年別の分科会でのグループディスカッションを行い、全体会で分科会の報告が行われたこと。</li> <li>・グループは、学年職員、保護者、その他の立場の参加者が所属するように構成されており、職員が進行役を行い、スムーズに話し合いが行われ、参加者全員が発言できるようにしていたこと。</li> </ul>
参加者の 意見	<p>&lt;テーマに関することについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子のコミュニケーションが大切であり、そのためには、親（大人）から歩み寄っていく必要があるのではないか。</li> <li>・家庭は「安全基地」のような場所であり、子供の小さな悩みについても相談にのってあげられる存在でありたい。</li> <li>・子供たちを全体で見守っていく体制づくりが重要である。</li> <li>・SNSの活用など、子供たちに合った支援体制を構築していきたい。</li> </ul>
その他	<p>&lt;参観者の感想等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭教育」をテーマにしたことで、保護者と教職員が体験に基づいて話し合うことができている良かった。グループも学年中心に分けられていたことで話し合いもより活発に行われたと感じた。今後、小中合同での開催が実現できることを期待している。</li> <li>・地域の方も多く参加できれば、さらに内容も充実したのではないかな。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーやアドバイザー等の専門家を招いて、グループディスカッションができたことは、今後につながる良い機会になった。</li> </ul>

## 「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	市川市立須和田の丘支援学校
テーマ	地域とともにある学校づくり、地域と学校の連携・協働について
実施形態	学校運営協議会を兼ねて実施 授業参観を併せて実施
日時 会場	令和4年11月4日（金）10:00 ～ 11:30 新校舎多目的室
参加者	教職員 4名      その他 3名 保護者 2名 地域住民 9名 <span style="float: right;">計 18名</span>
広報	出席を直接依頼
内容・ 進め方	<p>&lt;工夫が見られた点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の会長が協議の進行を行い、様々な視点で「学校に必要な支援等」について、委員全員から意見を出してもらい、地域とともに課題解決に向けた協議を行われていたこと。</li> </ul>
参加者の 意見	<p>&lt;学校評価に関することについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の情報発信については、学校の HP により、活動の様子がとてもよく分かり、保護者同士でも話題になっている。</li> <li>子供が在籍していた頃よりも、様々なことが改善されている。学校評価アンケートにより、改善していくことはとても良いことである。アンケートの項目に「地域に関する項目」を加えるとさらに良い。</li> </ul> <p>&lt;その他について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域に開かれた学校」ではなく、「地域とともにある学校」になっている。</li> <li>子供たちの交流だけでなく、保護者同士の交流が大切である。交流の機会を設けられると良い。</li> </ul>
その他	<p>&lt;参観者の感想等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の大切な資源として、市全体で特別支援学校を応援していく姿勢を感じた。</li> <li>学校運営協議会の委員に、地域学校協働活動推進員や地域住民（自治会）、社会福祉協議会相談員、自立支援協議会、機関相談支援センター、親の会、障害者・就業生活支援センター等の専門知識や経験豊富な人材が、学校の応援団として参画していることが、学校としては大変心強いと思う。</li> </ul>